

公共交通ニュース vol.19 2014.7.23

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

ヤマノススメ セカンドシーズンはじまりました。

人気イラストレーター・しろが描く、飯能市を舞台にした“女の子だけのゆるふわアウトドア”TVアニメ「ヤマノススメ セカンドシーズン」がスタートしました。この「ヤマノススメ」は、女の子たちが登山を通して友情を深め、互いに成長していく姿を描いた物語です。

今回は、15分番組として、6か月間全24話放送されます。

第1回、第2回放送では、国際興業バスや飯能市のゆるきゃら「むーま」くんが登場しました。東飯能駅やまるひろ、そして「ひがはん」など地元ならではの会話も登場しました。

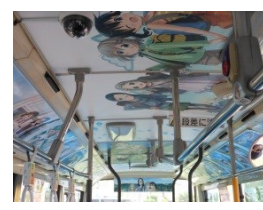
また、セカンドシーズン放送開始前にメインキャスト4人が見どころを紹介した特別番組では、本市のヤマノススメラッピングバスや第1弾で描かれた本市の風景なども紹介されました。

「ヤマノススメ」は毎週水曜日午後10時から東京MXで放映しています。

第1回放送を見逃しても、まだまだ楽しめます。そのほかBS11で、毎週水曜日深夜3時から放映しています。

飯能市内の風景や施設、また、路線バスが登場するのではと「ワクワク」しながらご覧ください。

市内では、ヤマノススメラッピングバスが3台運行しています。アニメとともに“見て楽しい、乗って楽しい”ラッピングバスをご利用いただき、ヤマノススメ聖地巡礼はいかがでしょう。



ヤマノススメバスと車内(車内もラッピングしています！)

バス路線のできるまで①

新しい道路ができ、その道路に路線バスを走らせるとしたらどんな手順が必要と思いますか？バス路線を新設するためには、道路管理者や警察などの関係機関との調整を行い、国土交通省への申請を行って、許可を受けることになります。

この関係機関との調整以上に重要なのが、どれだけの利用者が見込めて採算がとれるかという需要予測・収支予測です。路線バスは、基本的に家が多くある、利用者が見込める道路を運行しています。大規模開発地を除いて新しい道路は、昔からの道路と比べて、家はどうしても少なくなります。

バス停についても、道路交通法で設置できない場所が定められています。また、設置する場所の所有者や立てる位置の前や隣の方の合意がないと設置することは当然できません。かつては、バス停があると「便利になる」と歓迎されましたが、今はどちらかというと「汚される、のぞかれる、騒がれる」と迷惑施設並みになっています。バス停以外にも車内アナウンスや料金表示機の変更が必要となります。新しい道路ができたからバスを走らせるということは、走らせるだけなので、簡単にできそうに思えますが、いろいろな手続や調査、調整が必要なのです。

※公共交通ニュースは地区行政センター及び市ホームページでご覧いただけます。

飯能市企画総務部企画調整課
総合政策・交通政策担当